

新旧対照表

【香美市人口ビジョン】

頁	事務局案（旧）	修正案（新）				
P1	<p>序章 人口ビジョンについて</p> <p>(1) 香美市人口ビジョンの位置づけ</p> <p>「香美市人口ビジョン」は、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」の趣旨を尊重し、香美市における人口の現状分析を行って、今後目指すべき人口の将来展望を示すものです。</p> <p>同時に、その目標実現のための方策を定める「香美市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(平成 27 年度から平成 31 年度の5年間の計画)の前提となるビジョンです。</p> <p>また、本人口ビジョンは、「第2次香美市振興計画」の重要な基礎資料となります。</p>	<p>序章 人口ビジョンについて</p> <p>(1) 香美市人口ビジョンの位置づけと将来目標人口</p> <p>「香美市人口ビジョン」は、<u>香美市における人口の現状分析を行い市民の皆様と人口問題に関する認識の共有を図り、今後目指すべき将来の方向性と人口の将来展望を示すものです。</u></p> <p><u>本人口ビジョンでは、2060 年の将来目標人口を国立社会保障・人口問題研究所を基にした推計人口から4,700 人余り多い「19,400 人」に設定しています。</u></p> <p>※人口の将来展望、将来目標人口の詳細は P78～P80 に記載</p>				
P2	<p>(3) 設定などの方針</p>	<p>卷末 資料編 (P83～)</p> <p><u>(3) 本人口ビジョン掲載の人口推計の設定等について (P114 ～)</u></p>				
P72	<p>第4章 人口の将来展望</p> <p>(1) 現状と課題の整理</p> <p>① 安定した雇用の創出</p> <p>⇒基盤となるもの、雇用を生むもの、地域に根差した産業振興が必要</p> <table border="1" data-bbox="295 1347 1140 1474"> <tr> <td data-bbox="295 1347 714 1474">現状からみた市の特徴と課題</td> <td data-bbox="714 1347 1140 1474">アンケート調査からみた意向と課題</td> </tr> </table>	現状からみた市の特徴と課題	アンケート調査からみた意向と課題	<p>第4章 人口の将来展望</p> <p>(1) 現状と課題の整理</p> <p><u>ここでは、第2章 香美市の状況分析にそって、4つの項目（①産業・雇用、②人の流れ、③結婚・出産・子育て、④地域）ごとに現状と課題を整理します。</u></p> <p>①産業・雇用</p> <table border="1" data-bbox="1218 1254 2063 1331"> <tr> <td data-bbox="1218 1254 1637 1331">現状と課題</td> <td data-bbox="1637 1254 2063 1331">アンケート調査の結果</td> </tr> </table> <p>⇒基盤となるもの、雇用を生むもの、地域に根差した産業振興が必要（※場所入替え）</p>	現状と課題	アンケート調査の結果
現状からみた市の特徴と課題	アンケート調査からみた意向と課題					
現状と課題	アンケート調査の結果					

頁	事務局案（旧）	修正案（新）				
P72	<p>① 安定した雇用の創出</p> <p>表中「現状からみた市の特徴と課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 基盤産業と位置づけられる「林業」「農業」だが、交代指数は低く、将来にわたっての維持のためには若い担い手を確保・育成することが重要である。 ● 「製造業」「卸売業・小売業」は現在でも従業者数の多い産業であることから、その振興は市民の雇用を将来的にも支えることにつながる。 ● 基盤と位置付けられる産業も、雇用力がある産業も、創業支援などにより雇用の場を増やすことにつなげる必要がある。 ● 卸売業・小売業などは地元での消費力の喚起、医療・福祉などは香美市に暮らす人の増加が必要であることから、香美市への人の流れ、居住環境や子育て環境の整備等、総合的な検討が必要である。 <p>表中「プラス要因」</p>	<p>①産業・雇用</p> <p>表中「現状と課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● <u>基盤産業と位置づけられる「林業」「農業」は、交代指数が低く、後継者の確保・育成が重要である。</u> ● <u>「製造業」「卸売業・小売業」は従業者数が多く市民の雇用を支える産業となっており、将来的にも維持できる振興策が必要である。</u> <p>(削除)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● <u>卸売業・小売業や医療・福祉産業の就業者数維持のためには、一定の人口維持が必要であることから、香美市への人の流れ、居住環境や子育て環境等総合的な取り組みが必要である。</u> 				
P72	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民も重要と認める基盤産業「林業」「農業」がある。 ● 市内中学生には「起業」したい希望もある。 	<p>表中「プラス要因」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● <u>市民も重要と認める基盤産業「林業」「農業」を支える豊富な森林、農地がある。</u> <p>(削除)</p>				
P74	<p>② 香美市への新しい人の流れをつくる</p> <p>⇒「暮らす 香美市」の魅力を、各層に向け整備することが必要</p> <table border="1" data-bbox="297 1251 1140 1374"> <tr> <td data-bbox="297 1251 714 1374">現状からみた市の特徴と課題</td> <td data-bbox="721 1251 1140 1374">アンケート調査からみた意向と課題</td> </tr> </table>	現状からみた市の特徴と課題	アンケート調査からみた意向と課題	<p>②人の流れ</p> <table border="1" data-bbox="1223 1230 2065 1307"> <tr> <td data-bbox="1223 1230 1639 1307">現状と課題</td> <td data-bbox="1646 1230 2065 1307">アンケート調査の結果</td> </tr> </table> <p>⇒「暮らす 香美市」の魅力を、各層に向け整備することが必要</p> <p>(※場所入替え)</p>	現状と課題	アンケート調査の結果
現状からみた市の特徴と課題	アンケート調査からみた意向と課題					
現状と課題	アンケート調査の結果					

頁	事務局案（旧）	修正案（新）				
P74	<p>② 香美市への新しい人の流れをつくる</p> <p>表中「現状からみた市の特徴と課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 香美市に新しく家を建てる人は一定数ある。高知市や他市との通勤・通学の多さや転入・転出の状況からみても、また地理的にも高知県内で津波の心配のない地域として、住む場所として香美市を選択してもらいような施策を重点的に行うことは現実的であり、地域の産業の担い手を確保していくためにも移住・定住の取組みによる転入促進は重要。あわせて、住環境や医療・福祉など、暮らす場所としてのホスピタリティ充実も重要である。 	<p>②人の流れ</p> <p>表中「現状と課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● <u>香美市に新しく家を建てる人は一定数あり、高知市や他市との通勤・通学の多さや転入・転出の状況、地理的に標高が高く津波の心配のない地域であることを踏まえると、移住・定住の総合的な取組みによる定住促進は重要。</u> 				
P76	<p>③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる</p> <p>⇒「子どもを産み育てやすい香美市」をさらに加速させることが必要</p> <table border="1" data-bbox="295 901 1140 1026"> <tr> <td data-bbox="295 901 714 1026">現状からみた市の特徴と課題</td> <td data-bbox="714 901 1140 1026">アンケート調査からみた意向と課題</td> </tr> </table> <p>表中「現状からみた市の特徴と課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 出生率の向上は個人の選択が優先されるものだが、それを前提とした上で、香美市に住み、結婚し、子どもを産み育てたいと考える人の希望をかなえるために、市としてできる環境整備や若い世代の課題解決を助ける方策の検討が必要である。 	現状からみた市の特徴と課題	アンケート調査からみた意向と課題	<p>③結婚・出産・子育て</p> <table border="1" data-bbox="1218 810 2063 887"> <tr> <td data-bbox="1218 810 1637 887">現状と課題</td> <td data-bbox="1637 810 2063 887">アンケート調査の結果</td> </tr> </table> <p>⇒「子どもを産み育てやすい香美市」をさらに加速させることが必要 (※場所入替え)</p> <p>表中「現状と課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● <u>香美市の婚姻率は減少傾向にあり、国の婚姻率を下回っている。離婚率はほぼ横ばいで推移しており、合計特殊出生率は県内でも下位となっている。</u>出生率の向上は個人の選択が優先されるものだが、それを前提とした上で、香美市に住み、結婚し、子どもを産み育てたいと考える人の希望をかなえるために、市としてできる環境整備や若い世代の課題解決を<u>図る</u>方策の検討が必要である。 	現状と課題	アンケート調査の結果
現状からみた市の特徴と課題	アンケート調査からみた意向と課題					
現状と課題	アンケート調査の結果					

頁	事務局案（旧）	修正案（新）				
P77	<p>●社人研の推計では年少人口比率が継続的に下がっていく予測となる。市の独自推計は出生率を上昇させる目標設定と、人口移動による増減を極力、減から増へ向かわせるという設定により年少人口比率の低下に歯止めをかける推計がなされている。仮に若い女性の転出を抑制し、さらに転入を促進したとしても、その先にある「少子化」への対応としては子どもを産み育てやすい環境づくりについて手を緩めることはできない。</p>	<p>●社人研の推計では年少人口比率が継続的に下がっていく予測となる。市の独自推計は出生率を上昇させる目標設定と、人口移動による増減を極力、減から増へ向かわせるという設定により年少人口比率の低下に歯止めをかける推計がなされている。仮に若い女性の転出を抑制し、さらに転入を促進したとしても、その先にある「少子化」への対応として子どもを産み育てやすい環境づくりにより一層取り組むことが必要。</p>				
P78	<p>④ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る</p> <p>⇒中山間地域、都市部、各状況に合わせたきめ細かな対応が必要</p> <table border="1" data-bbox="295 774 1140 898"> <tr> <td data-bbox="295 774 714 898">現状からみた市の特徴と課題</td> <td data-bbox="714 774 1140 898">アンケート調査からみた意向と課題</td> </tr> </table>	現状からみた市の特徴と課題	アンケート調査からみた意向と課題	<p>④地域</p> <table border="1" data-bbox="1218 692 2063 767"> <tr> <td data-bbox="1218 692 1637 767">現状と課題</td> <td data-bbox="1637 692 2063 767">アンケート調査の結果</td> </tr> </table> <p>⇒中山間地域、都市部、各状況に合わせたきめ細かな対応が必要（※場所入替え）</p>	現状と課題	アンケート調査の結果
現状からみた市の特徴と課題	アンケート調査からみた意向と課題					
現状と課題	アンケート調査の結果					
P79	<p>(2) 目指すべき将来の方向</p> <p>①人口減少問題に取り組む基本的視点</p> <p>現状と課題を踏まえ、人口減少に対応していくためには、「自然減に対する出生数の増加」「社会減に対する転出の抑制と転入の増加」の2つの側面に対応していく必要があり、次の3つの基本的な視点で取り組んでいくことが重要となります。</p>	<p>(2) 今後の取組みにおける基本的視点</p> <p>現状と課題を踏まえ、<u>人口減少への対応は、2つの側面から対応する必要があります。一つは、出生者数を増加させることで人口減少に歯止めをかけ、将来的に人口構造そのものを変えていくことにつなげる側面と、もう一つは、転出者の抑制と転入者の増加を図ることで社会増を拡大していく側面です。これら2つの対応を同時並行して相乗的に進めていくために、次の3つの基本的な視点を持ちながら取り組んでいきます。</u></p>				

頁	事務局案（旧）	修正案（新）
P79	<p>② 目指すべき将来の方向</p> <p>香美市の将来都市像である「山・川・まち・ひとが躍動し、支え合い、響き合う進化する自然共生文化都市・香美市」の実現を目指していきます。</p> <p>この将来都市像の実現に向けて、ひとは最も重要な要素であり、三つの基本的な視点により人口減少対策を講じていくことにより、将来にわたって自然と共生する文化都市として、持続可能な香美市を目指していきます。</p>	<p><u>(3) 目指すべき将来の方向</u></p> <p><u>「第1次香美市振興計画」の将来都市像である「山・川・まち・ひとが躍動し、支え合い、響き合う 進化する自然共生文化都市・香美市」の実現を目指していきます。</u></p> <p><u>この将来都市像の実現に向けては、人口減少問題の克服が最優先の課題となります。「ひと」が「しごと」をつくり「まち」をつくる地方創生の好循環を目指し、3つの基本的な視点に立って、関係者と連携し、さまざまな施策を講じながら、将来にわたって持続可能な「自然共生文化都市・香美市」の実現を目指していきます。</u></p>
P82	<p>(3) 人口の将来展望</p> <p>③市の人口の長期的な見通し</p>	<p>(3) 人口の将来展望</p> <p>③市の人口の長期的な見通し</p> <p>「<u>おわりに</u>」を追加</p> <p><u>国の長期ビジョンが示すように、人口減少問題の克服は極めて困難な課題です。</u></p> <p><u>しかし、国、高知県、近隣自治体をはじめ、関係諸団体や何より市民の皆様と連携を深め、さまざまな施策を講じながら、全力で取り組んでいきます。</u></p>

新旧対照表

【香美市まち・ひと・しごと創生総合戦略】

頁	事務局案（旧）	修正案（新）
P1	<p>第1章 基本的な考え方</p> <p>1 趣旨</p> <p>【2段落目】</p> <p>人口減少によって、地域経済の縮小を招き、若者の県外流出と特に中山間地域の衰退を招き、さらに地域経済が縮小することにより、人口減少を加速させていくという負のスパイラル（悪循環の連鎖）を克服するために、国、高知県、近隣市町村、市民の皆様、関係団体の方々などと本市の現状や目指すべき方向などを共有し、連携しながら、本市人口ビジョンでも掲げた3つの基本的視点から、人口減少問題に向けて取り組んでいきます。</p>	<p>第1章 基本的な考え方</p> <p>1 <u>人口減少と地域経済縮小の克服</u></p> <p>【2段落目】</p> <p><u>人口減少は、消費市場の縮小だけではなく、あらゆる現場で深刻な担い手不足を生み出す等、本市の経済に重大な影響を及ぼし、本市は「人口減少が地域経済の縮小を招き、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」という負のスパイラル（悪循環の連鎖）に陥っています。</u></p> <p><u>人口減少と地域経済の縮小の克服に向けて、本市人口ビジョンでも掲げた以下の3つの視点から、国、高知県、近隣自治体をはじめ、市民・関係団体の皆様と危機感や問題意識を共有し、それぞれの課題に対し、一体的・持続的に取り組んでいきます。</u></p>
P2	<p>2 総合戦略の位置づけ</p> <p>総合戦略は、緊喫の課題である人口減少問題に対応し、地方創生を成し遂げていくため、香美市人口ビジョンにおいて示した上記の3つの基本的視点に基づき、香美市のまちづくりの指針である「香美市振興計画」と一体となる戦略として位置付け、平成27年度（2015年度）を初年度とする今後5ヶ年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたものです。他の行政計画とも連動させ、総合的かつ計画に施策の推進を図っていきます。</p> <p>また、社会経済情勢や市民ニーズへの確かつ柔軟な対応ができるよう、平成29年度からの「第2次香美市振興計画」の策定にあわ</p>	<p>2 <u>まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立と総合戦略</u></p> <p><u>この「香美市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、人口減少を克服し、市域経済の創生を成し遂げることで、本市振興基本計画の将来都市像である「山・川・まち・ひとが躍動し、支え合い、響き合う 進化する自然共生文化都市・香美市」の実現を目指すもので、平成27年度を初年度とする今後5カ年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたものです。</u></p> <p><u>まち・ひと・しごとの創生に向けては、「ひと」を中心とした「まち」「しごと」の好循環の確立が必要で、「ひと」が「しごと」をつくり「まち」をつくるという流れを確かなものとするためには一体的・持続的な</u></p>

頁	事務局案（旧）	修正案（新）
P3	<p>せ、必要に応じて見直しを行うこととします。</p> <p>第2章 施策の方向性</p> <p>1 市の基本目標</p> <p>基本目標1の本文</p> <p>高齢者が多く、若い世代が少ないという本市の人口ピラミッドの構成を考えると、この構造を大きく変えるには、相当に長い期間を要することから、今後も人口減少は避けがたいものとなっております。</p>	<p><u>取り組みが必要です。</u></p> <p><u>総合戦略は、他の行政計画とも連動させるとともに、社会経済情勢や市民ニーズへの的確・柔軟な対応が必要となることから、平成29年度が初年度となる「第2次香美市振興計画」の策定時には、必要に応じて見直しを行います。</u></p> <p>第2章 施策の方向性</p> <p><u>2 策定にあたっての基本目標（項目を1から2へ）</u></p> <p>基本目標1の本文</p> <p>高齢者が多く、若い世代が少ないという本市の人口ピラミッドの構成を考えると、この構造を大きく変えるには、相当に長い期間を要することから、今後も人口減少は避けがたいものとなっております。</p>
P5	<p>2 総合戦略の効果的な推進</p> <p>（1）総合戦略の推進にあたっての基本姿勢</p> <p>国の「まち・ひと・しごと創生」政策5原則の囲み部分</p> <p>（1）自立性</p> <p>各施策が一過性の対症療法的なものにとどまらず、構造的な問題に対処し、地方公共団体・民間事業者・個人等の自立につながるようなものであるようにする。また、この観点から、特に地域内外の有用な人材の積極的な確保・育成を急ぐ。</p> <p>具体的には、施策の効果が特定の地域・地方、あるいはそこに属する企業・個人に直接利するものであり、国の支援がなくとも地域・地方の事業が継続する状態を目指し、これに資するような具体的な工夫がなされていることを要する。また、施策の内容検討や実施において、</p>	<p><u>1 総合戦略の推進にあたっての基本姿勢（項目を2（1）から1へ）</u></p> <p>（1）総合戦略の推進にあたっての基本姿勢（削除）</p> <p>国の「まち・ひと・しごと創生」政策5原則の囲み部分</p> <p>①自立性</p> <p><u>・構造的な問題に対処し、地方公共団体、民間事業者、個人等の自立につながる。</u></p> <p>②将来性</p> <p><u>・地方が自主的かつ主体的に、夢を持って前向きに取り組むことを支援する。</u></p> <p>③地域性</p> <p><u>・各地域の実態に合った施策を支援。国は支援の受け手側の視点に立って支援。</u></p>

頁	事務局案（旧）	修正案（新）
	<p>問題となる事象の発生原因や構造的な背景を抽出し、これまでの施策についての課題を分析した上で、問題となっている事象への対症療法的な対応のみならず、問題発生の原因に対する取組を含んでいなければならない。</p> <p>（２）将来性</p> <p>地方が自主的かつ主体的に、夢を持って前向きに取り組むことを支援する施策に重点を置く。活力ある地域産業の維持・創出、中山間地域等において地域の絆の中で心豊かに生活できる環境を実現する仕組み等も含まれる。</p> <p>なお、地方公共団体の意思にかかわらず、国が最低限提供することが義務付けられているナショナルミニマムに係る施策に対する支援は含まれない。</p> <p>（３）地域性</p> <p>国による画一的手法や「縦割り」的な支援ではなく、各地域の実態に合った施策を支援することとする。各地域は客観的データに基づき実状分析や将来予測を行い、「都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「地方版総合戦略」という。）を策定するとともに、同戦略に沿った施策を実施できる枠組みを整備する。国は、支援の受け手側の視点に立って人的側面を含めた支援を行う。</p> <p>したがって、全国的なネットワークの整備など、主に日本全体の観点から行う施策は含まれない。施策の内容・手法を地方が選択・変更できるものであり、客観的なデータによる各地域の実状や将来性の分析、支援対象事業の持続性の検証の結果が反映されるプロセスが盛り込まれていなければならない、また必要に応じて広域連携が可能なものである必要がある。</p> <p>（４）直接性</p>	<p>④直接性</p> <p>・<u>最大限の成果をあげるため、直接的に支援する施策を集中的に実施する。</u></p> <p>⑤結果重視</p> <p>・<u>PDCA メカニズムの下、具体的な数値目標を設定し、効果検証と改善を実施する。</u></p>

頁	事務局案（旧）	修正案（新）
P6	<p>限られた財源や時間の中で、最大限の成果を上げるため、ひとの移転・しごとの創出やまちづくりを直接的に支援する施策を集中的に実施する。地方公共団体に限らず、住民代表に加え、産業界・大学・金融機関・労働団体（産官学金労）の連携を促すことにより、政策の効果をより高める工夫を行う。</p> <p>この観点から、必要に応じて施策の実施において民間を含めた連携体制の整備が図られている必要がある。</p> <p>（5）結果重視</p> <p>効果検証の仕組みを伴わないバラマキ型の施策は採用せず、明確なPDCAメカニズムの下に、短期・中期の具体的な数値目標を設定し、政策効果を客観的な指標により検証し、必要な改善等を行う。</p> <p>すなわち、目指すべき成果が具体的かつ適切な数値で示されており、その成果が事後的に検証できるようになっていなければならない。また、成果の検証結果により取組内容の変更や中止の検討が行われるプロセスが組み込まれており、その検証や継続的な取組改善が容易に可能である必要がある。</p> <p>（2）推進体制の整備</p>	<p><u>3 取組体制と PDCA の整備（項目 3 の追加）</u></p> <p><u>（1）取組体制の整備</u></p> <p>【2 段落目】</p> <p>この総合戦略の推進にあたっては、上記の庁内組織及び、「香美市振興計画・総合戦略審議会」において、PDCA サイクル(※)により取り組み状況を客観的に点検・検証し、必要な対策の追加、見直しを行い、必要に応じて総合戦略の改訂を行っていきます。</p> <p>また、推進にあたって車の両輪となる香美市議会においても効果検証</p>
P7	<p>【2 段落目】</p> <p>この総合戦略の推進にあたり、上記の庁内組織及び、「香美市振興計画・総合戦略審議会」において、PDCA サイクル(※)により取り組み状況を客観的に点検・検証し、必要な対策の追加、見直しを行い、必要に応じて総合戦略の改訂を行っていきます。</p> <p>また、推進にあたって車の両輪となる香美市議会においても効果検証</p>	<p>【2 段落目】</p> <p>この総合戦略の推進に<u>あたっては</u>、上記の庁内組織及び、「香美市振興計画・総合戦略審議会」において、PDCA サイクル(※<u>2</u>)により取り組み状況を客観的に点検・検証し、<u>(削除)</u>、必要に応じて総合戦略の改訂を行っていきます。</p> <p>また、推進にあたって車の両輪となる香美市議会においても効果検証</p>

頁	事務局案（旧）	修正案（新）
P7	<p>証の段階において審議を行っていただきます。</p> <p>【囲み部分】</p> <p>PDCAサイクル： Plan-Do-Check-Actionの略称。</p> <p>Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Action（改善）の4つの視点をプロセスの中に取り込むことで、プロセスを不断のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法のこと。Plan-Doとして効果的な地方版総合戦略の策定・実施、Checkとして地方版総合戦略の成果の客観的な検証、Actionとして検証結果を踏まえた施策の見直しや地方版総合戦略の改訂を行うことが求められる。</p> <p>内閣府地方創生推進室「地方版総合戦略策定のための手引き」より</p> <p>（3）PDCAサイクルによる進捗管理 囲み部分【チェックのポイント】</p>	<p>の段階において審議を行っていただきます。</p> <p>【囲みを削除し注釈へ】</p> <p><u>※2 Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Action（改善）の4つの視点をプロセスの中に取り込むことで、プロセスを不断のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法のこと。</u></p> <p><u>内閣府地方創生推進室「地方版総合戦略策定のための手引き」より</u></p> <p>（2）PDCAサイクルによる継続的な改善 <u>囲み部分【チェックのポイント】を削除（内規で対応）</u></p>

